

平成19年8月6日

鯨類捕獲調査母船「日新丸」における死亡事故の発生について

共同船舶株式会社社長 山村和夫
財団法人日本鯨類研究所理事長 森本 稔

8月5日11時30分（日本時間）頃、第14次北西太平洋鯨類捕獲調査に従事する調査母船「日新丸」の工場甲板において、赤城政典製造員（33歳）が、作業中に資材運搬用昇降機に頭部を挟まれ、死亡しました。

現在、日新丸は釧路に向け航行中であり、8日（水）午後に入港予定です。

入港後、釧路海上保安部による調査が行われる予定です。

<経緯>

- 1 事故発生時間及び状況：5日11時30分頃。
昇降機を用い、梱包用段ボールの運搬作業中。
- 2 事故発生時の位置：北緯39度35分、東経165度23分。
(釧路からの距離は概ね1000海里)
- 3 昇降機からの救出：同11時40分。
直ちに、船医による1時間の心臓マッサージ等の蘇生治療を施しながら、釧路海上保安部へ緊急救援要請しましたが、12時40分に死亡と判断。
- 4 医師の死亡判断により、釧路海上保安部への緊急救援要請を取り下げ、日新丸はご遺体を安置し、釧路港に向かっています。同港入港予定は8月8日（水）午後。

問い合わせ先：

共同船舶株式会社 企画対策部 03-5547-1930

日本鯨類研究所 広報課 03-3536-6521